



小栗仁志市長に目録を手渡す
土屋博義常務理事＝中津川市
役所

学校にAED設置 中津川市へ助成金

とうしん協力基金

東濃信用金庫(多治見市本町)の公益財団法人とうしん地域振興協力基金は、中津川市が市内の小学校に自動体外式除細動器(AED)を購入、設置した事業に対して、15万円の助成金を交付した。

同基金は地域活性化に寄

与する地域産業の振興や社会福祉の向上などに役立ててもらおうと、1990年に創設。同金庫の営業拠点がある自治体や民間団体を対象に、毎年助成を続けている。

市役所で交付式があり、土屋博義常務理事が「これからも地元とともに栄えるとの理念を実践するため助成活動を続けたい」と基金の意義を強調、目録を

小栗仁志市長に手渡した。市によると、今回対象となったのは、昨年7月に南東の両小学校に設置したAEDの購入費。

(富樫一平)